令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	担い手総合支援事業	会計名称				_	一般会計		担当課		農業振興課		
争伤争未有	担() 于松百久坂争未	予算科目	6 青	款 1	項 3	目	事業番号	2459	所属長名		窪田春村	封	
事業評価の有無	■ 評価対象事業 □	評価対象外事業	(事業の概	既要・結	果のみ)				担当責任者名		中塚正洋	羊	
法令根拠等	令和3年度伊予市担い手総合支援事業費補助金交付要綱									【開始】	令和/平成 3	年度	
総合計画での	産業振興都市の創造								実 施 期 間	【終了】	令和	年度(予定)	
位置付け	魅力ある農業の振興 ■											設定なし	
総合計画における 本事業の役割	魅力ある農業の振興に関する新規就農者の確保・育成												
事業の対象	JAえひめ中央(取組農業者)			Ę	事業の目	的	の維持が困難し	こなりつつある	ぶ急速に進んでおり うため、多様な担い 軽営継承まで一貫し	手を確保	育成してい。	くため、募集か	
事業の内容 (整備内容)	研修 J A等が就農候補者への研修を実施するために行う 研修 J A等が就農候補者を次世代の農業者として育成す 効率的な経営の実践に必要となる農業機械・施設等の整(るため先進的技術の	の導入や、		手度の課 する具体 改善策	的な							

事業活動の内容・成果 (DO)

	来活.	剴∪.	ハハ谷	・成果	(טע)																		
			事	業	費	と 及 ひ	隊 財 派	原 内	訳 (-	千 円)		Į	事 業	活	動の	実	績	(活 動	指	標)		
	IJ	頁		目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項	目		単位	前年	年度実績	3	年度予定	9月末の)実績	3 年	度実績
	直	接	事	業	費	4, 231	0	14, 887	7 0	0	13, 414												
		玉	庫は	出金	Ē		0	(0	0	0	研修生			人		13		12		12		12
	財	県	支	出金	ī	4, 231	0	10, 733	3 0	0	9, 472												
	内	地	7	ī 信	Į		0	(0	0	0												
	尺	そ	0) (t	þ		0	(0	0	0	施設			基		3		3				3
		_	般	財源	1	0	0	4, 154	1 0	0	3, 942												
				んく)		0. 20	0.00				0. 27												
				人件費单		7, 812	7, 841				7, 841	_			機		20		4				4
	₩ ī	直接	事業責	十人件	費	5, 793	0				15, 531												
		主	な実施	主体		JAえひめ中央		実施形態(补 理料・委託料	輔助金・指定管 斗等の記載欄)	補助金													
	向こう5年間の直接事業費の推移					4	年度	5 年度		6 年	度	7	年度		8 年月		5年間	の合計	†				
							7直接事業員の 千円)	71世代夕			13, 000	13,000)	13	3,000		13,000		13,	000		6	65, 000
										単位		区分年度	前	年	度	3	年度		4 年月	隻	目標	毎 :	年度
			ŧ	旨 標		当該年度実績力	人数/当初計画	予定人数×100)	%	_	目標		100		100)		100			100	
	成果指標	1	指標設	定の考え	え方	研修生を支援で 実績を比較する	することで新規 ることで事業タ	見就農者の確保 効果とする。	とに繋がることか	いら、計画と		実績		100		100)		100			100	
				ぎ表せな 効果	: L \	就農時に必要な	な機械・施設等	停導入に対して	支援することで	で、本市を就農	先として選択	する研修生を研	雀保する)						·			

事務事業評価(CHECK)

新たな課題や当初の 改善策に対する対応状況 県の次世代ファーマーサポート事業の後継事業であり、担い手への重要な支援策と位置付け、市費の投入も含め担い手確保・定着を推進する。

				5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。				事	新規就農者の生産活動の安定、発展させることで、担い
	自		目的の妥当性	3 概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が		業	手の確保が推進されている。
事	ш			7 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。		L III M M		-14	
	_			5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。		14~15 : S		成	
	己	妥当性	社会情勢等への対応	社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4	10∼13 : A	A	果	
	atus.			2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。		8∼ 9 : B 5∼ 7 : C		213	
	判		+ - 00 L 11 li	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。		3∼ 7 : C 3∼ 4 : D			
			市の関与の妥当性	3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4			工	
	定			1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。				夫	
マケ			事業の効果	4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4			L	
務			サネジがス	2	1	合計点が		_	
				1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		14~15 : S		た	
	担	有効性	成果向上の可能性	4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4	10∼13 : A	A	点	
				2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。		8~ 9 : B		事	農業者の経営計画に基づいた適正な機械・設備等の導力
	当			5 施策推進への貢献は多大である。		5∼ 7 : C 3∼ 4 : D		業	であるか見極め、審査する必要があると同時に、導入後
			施策への貢献度	施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	3~ 4 : D		の	の利用促進、経営発展への理解を促さなければならな
	責			, 施策推進につながっていない。				苦	ν _°
事	貝		7.00 a B 12.44	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 アナース・スートス・スートス・スートス・スートス・スートス・スートス・スートス・ス				· 労	
	任		手段の最適性	3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	合計点が		L	
	1±			1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。		44 45 6		_	
	- /	効率性	コスト効率	3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4	14∼15 : S 10∼13 : A	A	た	
	者	が十江	1X1 W.+	2	-	8~ 9 : B	А	点	
	\smile			1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。		5∼ 7 : C		•	
			市民(受益者)負担 の適正	4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	4	3∼ 4 : D		課	
**			の適圧	2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。				題	
業				5 旅策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。					■ 事業継続と判断する。
			目的の妥当性	概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が		事	■ 事未配机と下回りる。
				2 この事業では施策の目的を果たすことができない。		III MA		-	□ 事業縮小と判断する
	_			5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4		14~15 : S		業	
		妥当性	社会情勢等への対応	3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4	10~13 : A 8~ 9 : B	A		□ 事業廃止と判断する
	次			1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。		5~ 7 : C		の	(判断の理由)
	火		市の関与の妥当性	4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4	3∼ 4 : D			本事業は、農業の担い手不足が本市の農政を左右する力
の	stat		市の関子の女当は	1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	-			方	きな課題であることを真正面から捉え、JAによる新規
	判			5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。				_	就農者の確保・定着や優良農地の維持を強力に進める
			事業の効果	4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が		向	業であることから、事業継続と判断する。
	定			2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。		音計点か		性	
				5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		14~15 : S		1±	
	$\overline{}$	有効性	成果向上の可能性	今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4	10∼13 : A	A		
				1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。		8∼ 9 : B 5∼ 7 : C		所	本事業の就農候補者研修支援事業は、JAが県費を受け
評	所			5 施策推進への貢献は多大である。 4		5~ 7 : C 3~ 4 : D		属	て実施するもので市として関与の余地は少ないが、新規
計			施策への貢献度	3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2	4	0 1. 5			就農者にとって欠かせない事業のため、引き続き目標達成に向け支援する必要がある。
	属			1 施策推進につながっていない。 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。				長	びに同じ又振りる必要がめる。 従事者の高齢化と減少が急速に進み、農業生産の確保と
	,,,,,,,,		手段の最適性	3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4			စ	集落における農地の維持が困難になりつつあることか
	長		ナ	2	4	合計点が		0)	ら、多様な担い手を確保・育成していくために、少して
	IX			1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	+	14~15 : S		課	も早く新規事業をフル活用できる体制を整える。
	\smile	効率性	コスト効率	4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3	10~13 : A	A	BE	
				7 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	_	8~ 9 : B		題	
価			十日 (四升本) 身垣	他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。		5~ 7 : C		認	
			市民(受益者)負担 の適正	4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3	3∼ 4 : D			
			V) 22 11	7 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。				識	

		一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	
施			
策	=		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
を		一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
~		一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
踏	次		
ま			
え	半川	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	,	【行政評価委員会委員選定事業】	
た			
判	定	□	
断		一 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
		既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
行 政	外	答申の内容	1,41,
評		・多岐にわたる内容だが、記載内容が少なく分かりにくい。見るだけで分かりやすいシートづくりに努めてもら ・地域における支援体制を構築していかないと、新規就農者が継続的に農業だけで頑張っていくのは難しいだろ	う。
価 委	部	・市が実施しているのは、県事業の一部であり、総合支援事業というわけではない。事業名称と中身が合ってい明記してもらえると誤解なく、分かりやすくなるだろう。	ない状況である。県事業のうち、どの部分を実施していると
女員		・農業振興のために、必要な事業であることは認識できた。引き続き尽力してもらいたい。	
会の	評		
答			
申	価		
今後の方	向性 (ACTION)	**************************************	
		事業の方向性 コメント欄 第一次産業を支え、国の根幹を守る人材を育る	て繋げていく重要な事業であり、本市の目指すべき姿を打
	の経	□ 現状のまま継続する。□ お出した上で強化する必要がある。事務事業図状のまま継続する。	評価シートは、事業の目的や内容等が伝わりやすい記載に
	最営 終者	□ 見直しの上、継続する。	
	判会		
	断議	□ 事業の帰いと検討する。 事業を縮小する。 □ 事業の休止、廃止を検討する。	
		事業を休止、廃止を検討する。	